

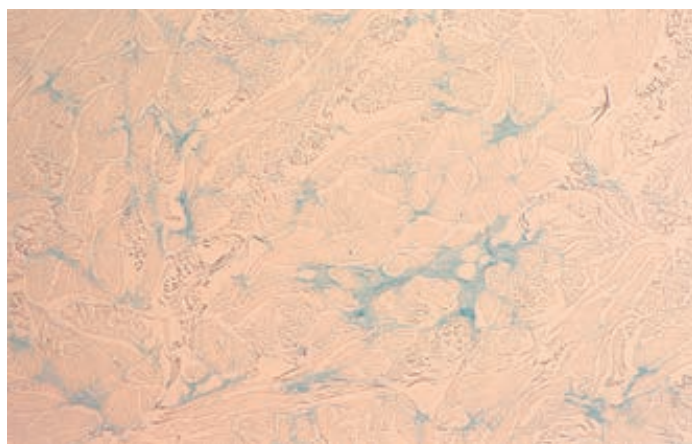


図 17.9 浮腫性硬化症の病理組織像（アルシアンブルー染色）
ムチンの沈着がみられる。

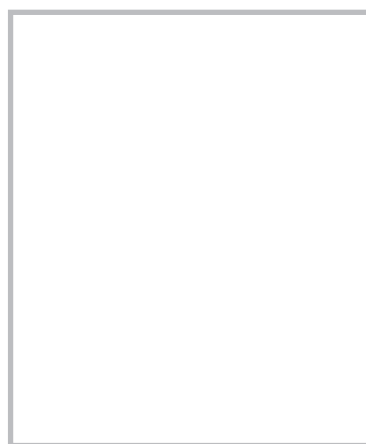


図 17.10 脛骨前粘液水腫
(pretibial myxedema)

間にムチンが沈着する（図 17.9）。本症は糖尿病性浮腫性硬化症（p.332 参照）との異同が議論となっており，糖尿病の検索が必要である。数か月から数年後に自然治癒する。

2. 汎発性粘液水腫 generalized myxedema ★

甲状腺機能低下により生じる。全身の皮膚にムチンが沈着し，とくに顔面や四肢に浮腫状変化が目立つ。皮膚は冷たく，乾燥して蒼白を呈する。つまむと軟らかく圧痕を残さない（non-pitting edema）。顔面に特徴があり，全体に腫れぼったく，鼻の幅が広がり，巨大舌と口唇の肥厚がみられる。頭髪および眉毛外側 1/3 の脱毛や脆弱性を認める。

3. 脛骨前粘液水腫 pretibial myxedema ★

両側の脛骨前面から足背にかけて好発し，淡紅褐色調の局面，皮下硬結，結節を呈する（図 17.10）。毛孔の開大や多毛を認める。甲状腺機能亢進症やその治療後の機能低下状態で生じることが多い。

4. 粘液水腫性苔癬 lichen myxedematosus ★

類義語：硬化性粘液水腫（scleromyxedema），丘疹性ムチン沈着症（papular mucinosis）

顔面，手指，前腕伸側などの四肢を中心に，直径 1～3 mm のやや黄色調の丘疹が多数集簇，融合し，局面を形成してオレンジの皮様の外観を示す（図 17.11）。丘疹が単発ないし散在



図 17.11 粘液水腫性苔癬 (lichen myxedematosus)